

森林計画学会 2014 年度総会

日時：2014 年 3 月 30 日(日)

場所：大宮ソニックシティ

2013 年度事業報告

溝上事務局長から以下の通り報告があり、了承された。

1. 春季国際シンポジウムおよび総会を岩手大学において開催した（3 月 28 日）。
2. 夏期セミナーを台湾・韓国との国際共同シンポジウムとして、鹿児島大学および屋久島にて開催した（9 月 5 日～7 日）。
3. 学会誌（和文誌 47 巻 1 号・2 号、英文誌 Vol.18、No.2(FORCOM2011 特集号)、Vol.19、No.1・No.2)を発行した。
4. 学会ニュースを発行した（2013 年度 1 号～8 号）。
5. 日本農学会に参加し、役員として評議員・白石則彦氏、運営委員・吉本敦氏が参画した。
6. JABEE（日本技術者教育認定機構）に参加した。
7. 森林・木材・環境アカデミーに参加した。
8. 2013 年度森林計画学会賞の選考を行った。

【森林計画学賞】

受賞者：井上 昭夫(熊本県立大学)

受賞業績：Allometric model of the maximum size-density relationship
Between stem surface area and stand density

発表媒体：Journal of Forest Research 14(5) (2009 年)

【黒岩菊郎記念研究奨励賞】

受賞者：加治佐 剛(九州大学)

受賞業績：Object-based forest biomass estimation using Landsat ETM+
in Kampong Thom Province, Cambodia

発表媒体：Journal of Forest Research 14(4) (2009 年)

【南雲秀次郎記念学生奨励賞】

受賞者：トウ送求(信州大学)

受賞業績：Change of spatial structure characteristics of the forest
in the Oshiba Forest Park in 10 years

発表媒体：Journal of Forest Planning 17 (2011 年)

9. 関連する研究集会・シンポジウムを共催した。

Joint International Symposium By Japan and Czech Republic “Data Acquisition, Statistical Modeling and Decision-Making Toward Better Forestry” (2013 年 10 月 8 日～9 日、Czech University of Life Sciences Prague)

10. 理事会の開催

E-mail 等により理事会を合計 8 回開催し、本会の運営に関わる重要事項を審議した。

| | | |
|-----------------|--------------------------|-----------------------|
| 第 1 回理事会（メール審議） | 2013 年 4 月 23 日～4 月 26 日 | 2013 年度総会報告（案）について |
| 第 2 回理事会（メール審議） | 2013 年 7 月 12 日 | 英文誌の発送順序の逆転について（報告） |
| 第 3 回理事会（メール審議） | 2013 年 7 月 19 日 | チェコでの国際シンポの共催について（報告） |
| 第 4 回理事会（メール審議） | 2014 年 2 月 25 日～2 月 27 日 | 学会賞の選考結果について |
| 第 5 回理事会（メール審議） | 2014 年 2 月 26 日～3 月 3 日 | 2014 年度夏季セミナーについて |
| 第 6 回理事会（メール審議） | 2014 年 3 月 17 日～3 月 21 日 | 会費に関する会則の改定案について |
| 第 7 回理事会（メール審議） | 2014 年 3 月 18 日～3 月 21 日 | 学会誌バックナンバーについて |
| 第 8 回理事会 | 2014 年 3 月 28 日 | 総会議案について |

2013 年度会計決算報告

光田会計担当理事より別表の通り報告があり、了承された。

2013 年度会計監査報告

國崎、藤原両監事より会計監査の結果、学会の会計は問題ない旨の報告があり、了承された。

会費に関する会則の改定案について

光田会計担当理事より以下の説明があり、改定案通り、了承された。

改訂案

第9条（会費）

現行：1. 正会員の会費は年額 8,000 円とする。

改訂：1. 正会員の会費は年額 8,000 円とする。会費の有効期間は4月1日から翌年の3月末日までとする。

現行：2. 機関会員の会費は1口につき年額 30,000 円とし、1口あたり3名までの正会員登録が可能とする。

改訂：2. 機関会員の会費は1口につき年額 30,000 円とし、1口あたり3名までの正会員登録が可能とする。会費の有効期間は4月1日から翌年の3月末日までとする。

提案の経緯

機関によっては学会年会費の公費支払いが可能となっており、その申請のための書類を作成することが多くなってきた。

その中で年会費の有効期間を明示した文書を求められることも多くなった。

このような外部からの要請に対応するため、会則の中で会費の有効期間を明記することが必要であると考えられる。

2014 年度事業計画案

溝上事務局長より以下の通り計画案が示され、了承された。なお、学会プロジェクトについては、推進するための方策が必要であるとの意見が出された。

1. 春季シンポジウムおよび総会を大宮ソニックシティにおいて開催する（3月30日）。
2. 夏期セミナーを台湾・韓国との国際共同シンポジウムとして、韓国・ソウル大学等にて開催する（5月28日～30日）。
3. 「森林計画・森林計測の理論および技術に係る若手研究集会」を統計数理研究所にて開催する（1月中旬を予定）。
4. 学会誌（和文誌 48 巻 1 号・2 号、英文誌 Vol.20、No.1・No.2）を発行する。
5. 学会ニュースを発行する。
6. 学会ホームページを管理運営する。
7. 2014 年度森林計画学会賞を選考する。
8. JABEE（日本技術者教育認定機構）に対応する。
9. 森林・木材・環境アカデミーに対応する。
10. 日本農学会に参画する。
11. 学会プロジェクトを推進する。
12. 関連する研究集会・シンポジウムなどを支援する。

（林業再生のための人材育成体系の検討報告会：2014 年 3 月 31 日、日本森林技術協会）

2014 年度会計予算案

光田会計担当理事から別表の通り予算案が示されるとともに、繰越金の増加傾向についての説明があり、会費の値下げを検討することを条件に予算案が了承された。

各委員会報告

企画運営委員会（吉本理事）、和文誌編集委員会（近藤理事）、英文誌編集委員会（井上理事）、表彰委員会（平田理事）、広報委員会（齋藤理事）より活動状況報告があった。

次期会長（任期：平成 26 年 4 月から平成 29 年 3 月）の選出

次期会長として田中和博会員が選出された。

次期役員（任期：平成 26 年 4 月から平成 29 年 3 月）の選出

次期役員として以下の会員が選出された。

1. 会長 田中和博（京都府立大学）
2. 副会長 白石則彦（東京大学）
3. 常任理事
企画運営委員長 松村直人（三重大学）

| | |
|----------|--------------------|
| 事務局長 | 美濃羽靖 (京都府立大学) |
| 和文誌編集委員長 | 和口美明 (奈良県森林技術センター) |
| 英文誌編集委員長 | 長島啓子 (京都府立大学) |
| 表彰委員長 | 平田泰雅 (森林総研筑波) |
| 広報委員長 | 齋藤和彦 (森林総研関西) |
| 会計 | 田中邦宏 (森林総研関西) |
| 出版局長 | 松英恵吾 (宇都宮大学) |

4. 地区代表理事

| | |
|-------|----------------|
| 北海道 | 古家直行 (森林総研北海道) |
| 東北 | 小谷英司 (森林総研東北) |
| 関東 | 細田和男 (森林総研筑波) |
| 中部 | 栗屋善雄 (岐阜大学) |
| 近畿 | 山本伸幸 (森林総研関西) |
| 中国・四国 | 北原文章 (森林総研四国) |
| 九州 | 高橋與明 (森林総研九州) |

| | |
|-------|--------------|
| 5. 監事 | 松下幸司 (京都大学) |
| 同上 | 長谷川尚史 (京都大学) |